

# 組織の健全化をめざし、 スクラップを推進する 事業のスクラップ研修

係長

課長  
補佐

課長

部長

## 研修のねらい

- 自治体のそれぞれの職場で発生している問題から事業のスクラップの必要性を理解します。
- 政治の側面ではなく、行政の側面から事業のスクラップの阻害要因を考えます。
- 事業のスクラップに向けて、事業間比較、時間軸比較のアプローチの実践手法を学びます。

職員減少、職務増大の時代にあって、自治体職員は目の前の「作業」をモグラ叩きのように消化しています。成果や効果を考えないで行うことは、「仕事」ではなく「作業」です。そういった職場では、お互いに関心し合い、職場を活性化することは困難です。地方自治体は、自らの組織を健全化するために、事業や業務の見直し(スクラップ)に積極的に取り組むことが求められ、それは待たなしの状況です。

事業をスクラップするためには、その必要性を改めて理解し、スクラップが進まない真因を深く掘り下げて考える必要があります。

この研修では、事業間比較、時間軸比較アプローチの2つのスクラップ手法について、演習を通して体得し、職場を「作業の場」から「仕事の場」に転換することをめざします。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

### 1日コース

午前	1. 事業のスクラップの基礎知識 (1) 事業のスクラップの阻害要因 (2) 「事業」と「業務」 (3) 「事業管理」と「業務管理」 ◇ グループ討議 ◇ 「事業のスクラップの阻害要因」	
	2. 事業のスクラップの手順 (1) 事業のスクラップの2つのアプローチ (2) 事業のスクラップの手順	
午後	3. 事業間比較アプローチ、その実践 ～ スクラップすべき事業はどれか ～ ◇ グループ演習 ◇ 「事業のスクラップの実践」 ◇ 発表・相互評価・講評 ◇	5. 事業のスクラップの実現に向けて (1) 事業のスクラップを実現するために (2) 事業のスクラップの留意点
	4. 時間軸比較アプローチ、その実践 ～ この事業の実効性はどのように変化するのか ～ ◇ グループ演習 ◇ 「事業のスクラップの実践」 ◇ 発表・相互評価・講評 ◇	6. まとめ